

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.25

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業	担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	水防法・土砂災害警戒区域等における土砂災害対策の推進に関する法律 など	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なる				終期
(小項目)						
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進				
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	①平時は市民等に各種災害の危険性や対応方法等の周知啓発 ②発災時に迅速かつ的確な避難行動に繋がるよう各種ハザードマップを作成する(見直し含む)。		事業内容(R1)	①新池川の浸水想定の見直し結果の検証 ②防災重点ため池のハザードマップ検討+W48				
実施方針	①各災害の被害想定を基にハザードマップを作成する。 ②市民に向けて周知啓発を行い、発災時に迅速な避難行動につなげる。 ③作成したハザードマップは、新しい情報等に基づいて適宜見直しを行う。		当初からの変更点	農村地域防災減災事業補助金を活用し、ため池マップ及びため池浸水想定区域図の作成に取り掛かった。				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ハザードマップの周知	○	○	○			
	2							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ハザードマップの作成		①ため池HMの印刷・配布 ②土砂・洪水HMの見直し・印刷・配布	①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	①各HM(新池川・ため池・高潮)作成に向けての調査研究	①新池川HMの改訂 ②防災重点ため池浸水想定区域図の作成 ③高潮HMの作成	①各HM(新池川・ため池・高潮)の見直し	-

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①ため池HMの印刷・配布 ②土砂・洪水HMの見直し・印刷・配布	①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	①各HM(新池川・ため池・高潮)作成に向けての調査研究	①新池川HMの改訂 ②防災重点ため池浸水想定区域図の作成 ③高潮HMの作成	①各HM(新池川・ため池・高潮)の見直し

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	61	28,000	28,061	1,800	0

事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		ハザードマップについて、市民課窓口や危機管理課等で配布をするとともに、自治会等の地域住民の集まりや事業所職員を対象とした出前講座においても参加者に配布し、講座のテーマに応じて説明のなかで使用するなどした。 ハザードマップの更新については、県の説明会に出席するなどして、新池川及び高潮の被害想定の情報収集を行った。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ハザードマップの周知	○	○	○			
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	ハザードマップの作成		①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	①新池川HMの改訂 ②防災重点ため池浸水想定区域図の作成 ③高潮HMの作成	①各HM(新池川・ため池・高潮)の見直し	①各HM(新池川・ため池・高潮)の見直し	-
	目標達成率(実績/目標)			-				
事業費推移(円)	年度		令和元年度決算					
			平成30年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		0	0	59,400	28,000,000	28,059,400	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	28,000,000	28,000,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		0	0	59,400	0	59,400		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ハザードマップの作成		成果指標に対する所見	新たなハザードマップの作成はなかったが、国の補助事業として防災重点ため池マップ、浸水想定区域図の作成に着手したことや、県が新池川の想定最大規模での浸水想定区域を公表したことを受けて、令和2年度でのハザードマップの更新について予算化を行うなど、事業は進んでいる。		
	目標	①各HM(新池川・ため池・高潮)作成に向けての調査研究	-				
	実績	①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	-				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新池川に加えて、令和2年1月に県が公表した高潮浸水想定に基づくハザードマップ作成について検討が必要となる。また、防災重点ため池においては、国の補助事業としては、浸水想定区域図の作成までであるため、今後結果に基づくハザードマップ化の検討を行う必要がある。既存の土砂災害、吉野川・旧吉野川洪水ハザードマップについても、記載情報の更新等の検討を要する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	防災重点ため池の浸水想定区域図の作成を完了させるとともに、ハザードマップ化の検討を行う。想定最大規模の浸水想定に基づく新池川のハザードマップの改訂を行う。公表された高潮浸水想定に基づく、ハザードマップ作成の検討を行う。			
	令和3年度	新たな被害想定等の情報収集及び既存ハザードマップの記載情報の見直しを検討する。			